

第19回ヤマセ研究会 (東北地域における気象・気候情報の精度向上と高度利用に関する研究会)				プログラム ver.2
共催：弘前大学理工学部 気象学研究室 弘前大学大学院理工学研究科 寒地気象実験室				開催日：2024年2月27日(火)~28日(水) 場 所：弘前大学理工学部1号館 5階 第10講義室
2月27日(火)				座長：山崎 剛、井上 聡
No.	開始時間	終了時間	発表者	演題
	13:00	13:05	山崎 剛 (東北大学)	開会のあいさつ
1	13:05	13:25	石田 祐宣 (弘前大学)	青森県三戸町におけるリンゴの発芽日・開花日の将来予測
2	13:25	13:45	大久保さゆり (農研機構東北農業研究センター)	東北地域における過去の水稻高温障害リスク評価
3	13:45	14:05	井上 聡 (農研機構東北農業研究センター)	東北地域の農地における2023年夏季の猛暑評価および気候変動との関係
4	14:05	14:25	吉田 龍平 (福島大学)	質と量に基づく今後のコメ生産額変動の推定
	14:25	14:45	休憩	
5	14:45	15:05	石郷岡 康史 (農研機構北海道農業研究センター)	精密時別日射量メッシュデータの作成
6	15:05	15:25	池田 翔 (仙台管区気象台)	これまでに取り組んだ凍霜害研究
7	15:25	15:45	宗形 烈人 (福島大学)	ドローン観測の高密度化による沿岸気象予測の精度評価
8	15:45	16:05	小山 大次郎 (福島大学)	低解像度グリッドデータを用いたヤマセを抽出する指標の作成
	16:05	16:25	休憩	
9	16:25	16:45	土屋 幸男 (五戸再生可能エネルギー研究所)	ヤマセ強度の数値化
10	16:45	17:05	森岡 聡真 (弘前大学)	夏季の極端現象発生時の日射の分布と変動
11	17:05	17:25	中川 憲一 (仙台管区気象台)	2023年夏の気象状況と東北近海の海況について
12	17:25	17:45	立花 義裕 (三重大学)	昭和20年の未曾有の冷夏が終戦の決断に影響したか？
2月28日(水)				座長：伊藤 純至
13	9:20	9:40	菅野 洋光 (農研機構農業環境研究部門)	自身のこれまでの研究と近年のヤマセ日の減少について
14	9:40	10:00	天野 未空 (三重大学)	近年は“暖かいヤマセ”になっているのか？
15	10:00	10:20	鈴木 真一 (東北大学)	2022年5月21日に茨城県坂東市で目撃された漏斗雲とそれをもたらした積乱雲のMP-PAWRによる観測
16	10:20	10:40	門廻 充侍 (せとしゅうじ、秋田大学)	令和5年7月以降の記録的大雨による秋田県での被害と発災後の心理的影響に関する分析
	10:40	11:00	休憩	
17	11:00	11:20	岩本 黎 (弘前大学)	夏季の大雨発生時の亜寒帯海域から日本海への下層冷気の流出
18	11:20	11:40	白川 栄一 (東北大学)	RRJ-Convの降水の検証 (1981年~2020年の大雨)
19	11:40	12:00	伊藤 純至 (東北大学)	2013年北東北で発生した線状降水帯の数値シミュレーション
20	12:00	12:20	川瀬 宏明 (気象研究所)	2021/22冬季の大雪に対する地球温暖化の影響
	12:20	12:40		全体討論・研究会の今後について